

## 月山と刈田山と花塚山

むかし／＼大むかし天照大神のご命令によって月読命たち三人の姉妹が東の国にお下りになった。三人の神様たちは山形県の月山と宮城県の刈田山と福島県では花塚山とにお鎮まりになる定めだったが、どの方がどの山にお出でになるのかはまだ決定していなかったたので、ある日、三人の神様たちがお相談になった。この三人の神様の中で月読命が一番年下の妹だったが才智があり話もきびきびした神様だったので、一番上のお姉様に花塚山は非常に眺めがすばらしくて、お花畑があつてとても美しい山ですから、お姉様がお出でになるには相応しい山ですから、お出でになられては如何でしょうか。と申し上げた。一番上のお姉さんは気質のやさしい、おとなしい神様だった。妹のいうその美しいきれいなお花畑があるということでお花の好きな神様はそれでは私がお花塚山に参りますと申し出られました。月読命は次のお姉様に、お刈田山はともきれいな山で山頂からは月山も見えますし花塚山も眺められます。とても美しいお山ですが、お姉様お出でになりませんか。と申し上げますと月山も花塚山も見えるのでは何時も姉妹三人が一しよにいるような山ですから私が刈田山に参りましょうと仰せられ月山には一番下の妹の月読命が鎮座されたのだといひ伝えております。それで今でも花塚山にはお花畑があり、その花は他所では見られない美しい花だと聞いていますが、お姉妹でも知恵のある一番下の神様が一番尊といひ奥の御山の月山にお鎮まりになったのだといひ伝えている。

【筆者注】これはこの辺に語り継がれて来た伝承民話であるが、月読命が三人のお姉妹の一番年下の神様だった事はある得ない事の様に思われる。古事記には天照大神より月読命に夜の世界をしろし召せと仰せられ